



佐賀県技術系職員を紹介 (畜産職)



令和7年5月
佐賀県 農林水産部

佐賀県庁の概要

全職員数：約3,000人

行政職員：約1,500人

技術職員：約1,500人

※知事部局等における企画立案等の業務

農政

土木

化学

栄養士

言語治療

消防

畜産

総合土木

窯業

診放技師

医師

職訓指導

農業土木

建築

工業

歯科衛生

歯科医師

航海士

林業

電気

デザイン

臨床検査

保健師

機関士

生改普及

機械

薬剤師

理学療法

助産師

撮影技師

水産

物理

獣医師

作業療法

看護師

速記士

※36職種

農政関係技術職員数：約310人
(農政・農業・畜産・生改)

佐賀県庁の組織



知事

山口祥義（やまぐち よしのり）

副知事

政 策 部

総 務 部

農 林 水 産 部

地 域 交 流 部

県 民 環 境 部

健 康 福 祉 部

産 業 労 働 部

県 土 整 備 部

本 庁

農政企画課、生産者支援課、農業経営課、園芸農産課、畜産課など

試験研究機関

農業試験研究センター（本場、三瀬分場、白石分場）、上場営農センター、果樹試験場、茶業試験場、畜産試験場

農業振興センター

佐城、三神、東松浦、西松浦、杵島、藤津

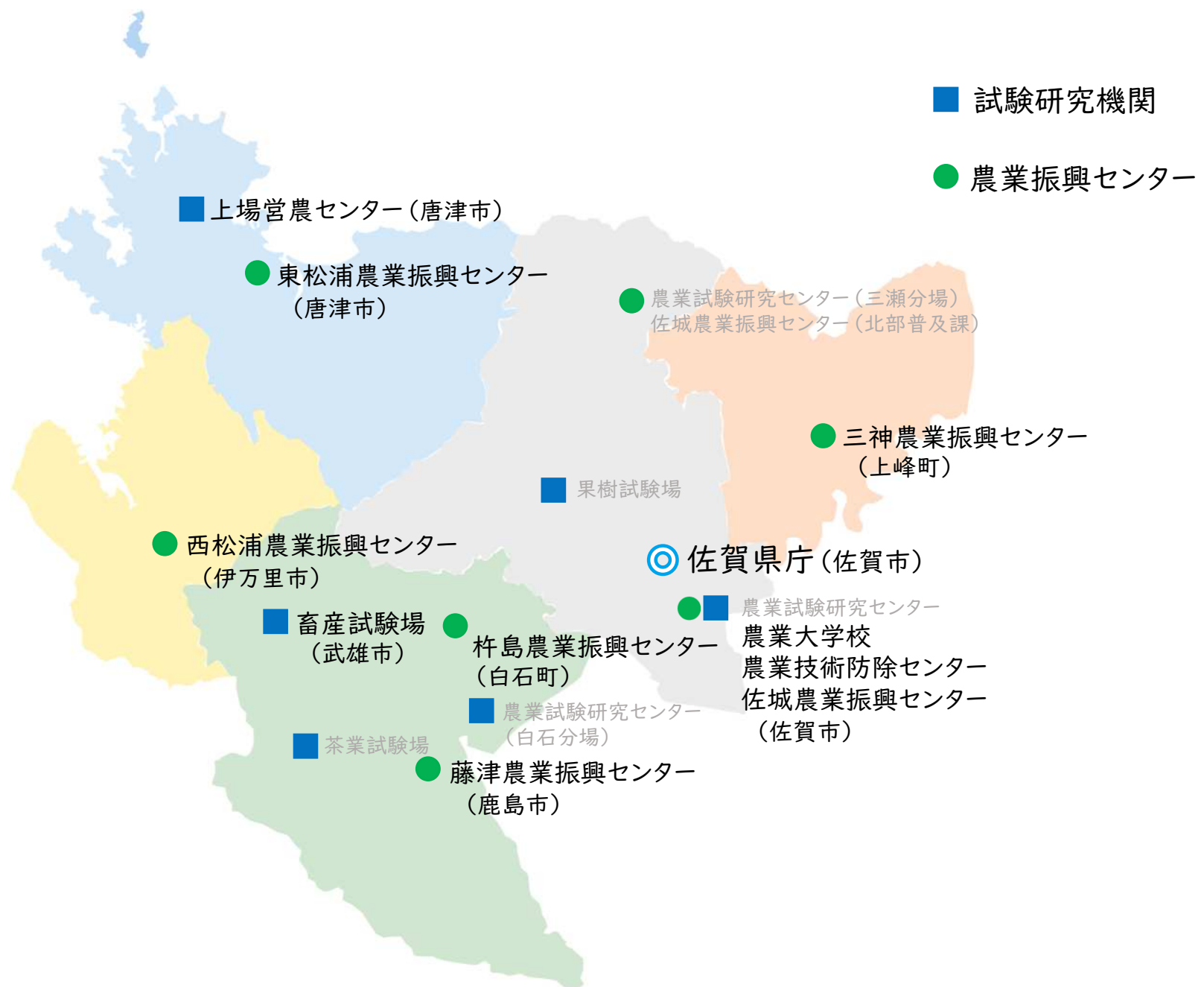
農林事務所

佐賀中部、東部、唐津、伊万里、杵藤

その他

農業技術防除センター、農業大学校など

畜産職の主な配属先



私たち畜産職は何を目指して働いているのか？

磨き、稼ぎ、未来へつながる さが農業・農村の実現

1 磨く

収量・品質の向上や経営の規模拡大・多角化等により経営力を「磨く」

2 稼ぐ

経営力を向上し、農業に魅力を感じるよう他産業以上の所得を「稼ぐ」

3 未来へつながる

「稼ぐ」農業者が増加することで産地や農村が活性化し、新たな担い手が続いていくことで、さが農業・農村が「未来へつながる」

畜産職の仕事

- ・知事部局における試験・研究・畜産指導などの業務

主な配属先

行政機関

- ・本庁（畜産課）
畜産関係の企画立案等
- ・農業振興センター
（農業企画課）
地域の畜産関係事業
実施の調整等



普及機関

- ・農業技術防除センター
畜産普及員の指導等
- ・農業振興センター
（普及課）
畜産現場での指導等



試験研究機関

- ・畜産試験場
畜産関係の試験・研究



- ・主な配属先は、畜産に関わる行政及び普及、試験研究機関に属する職場です。

行政機関<本庁（畜産課）・農業振興センター（農業企画課）>

畜産振興に向けた運動の展開や補助事業による支援、研修会の開催などを通し、畜産農家の所得向上や産地の維持・拡大を支援



畜産農家の所得向上や産地の維持・拡大に向けた運動の展開



畜産農家や関係者に向けた飼養管理技術の研修会の開催



肥育素牛の生産拠点となるCS、BS等の整備推進



飼料用トウモロコシの生産拡大に向けた専用収穫機の導入支援



優良堆肥の生産・利用推進を目的としたFUNBAL堆肥コンクールの開催



食肉センター「KAKEHASHI」の整備と輸出認定取得の推進

普及機関＜農業振興センター（普及課）＞

農家の所得向上や産地の発展を図るため、現場に実際に出向き、試験場で開発した新技術などの現地実証や普及、新規就農者の確保・育成などを行う



肥育牛の肉質を向上させるため
飼料給与ガイドラインの普及



農業の担い手を確保するため
新規就農者の支援



関係機関や部会と連携した技術や経営等の指導



飼養管理等の聞き取り調査



就農セミナー等研修会の開催

試験研究機関（畜産試験場）

稼げる農業の実現のため、新品種の育成や高収量・高品質となる新技術の開発等を行う

大家畜部

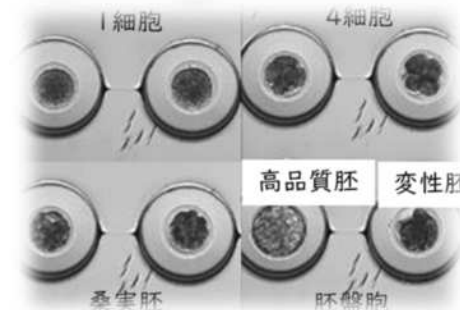
- ・県独自の優秀な種雄牛の作出と牛の凍結精液の安定供給に向けた研究
- ・雌牛の遺伝資源である卵子や受精卵を利用した家畜の改良、牛の繁殖機能に関する研究
- ・肉用牛及び乳牛の飼養管理技術の開発と併せて飼料作物の奨励品種選定業務等



種雄牛の作出 期待の候補牛「美津秀吉」



現場後代検定



受精胚のタイムラプスによる観察



高オレイン酸大豆給与試験



TMR給与試験



カーフレールによる個別哺乳管理

試験研究機関（畜産試験場）

稼げる農業の実現のため、新品種の育成や高収量・高品質となる新技術の開発等を行う

中小家畜部

- ・生産現場で利用可能な胚移植技術、暑熱ストレス改善技術や付加価値の高い豚肉生産技術の開発
- ・県内種豚の改良のため、純粋種豚3品種（ランドレース種、大ヨークシャー種及びデュロック種）の精液配布
- ・プログラムによる自動制御技術を活用した良質堆肥の生産手法開発等



豚胚のガラス化处理



豚肉の官能評価の様子



精液の採取



通気自動制御システムによる堆肥化試験



環境保全に係る技術指導



畜産排水の発電・浄化技術の検討

佐賀県畜産職のセールスポイント・強み

1 やりがいアップ！ あなたの成果が広がります。

- 新たに開発した技術や新制度は広がってこそ意味があります。佐賀県では、県庁と生産者・JAとの関係性が深いので、県内に広がりやすい環境にあります。

2 スキルアップ！ あなたの学びを支援します。

- 行政職、普及職、研究職をジョブローテーションし、自分に合う職種を探することができます。
- 博士号の取得を支援する制度や国の機関等で研修するチャンスもあります。
- それぞれの職種で研修を実施するため、必要なスキルを身につけることができます。
(新採普及員研修、研究員資質向上研修、農業職意見交換会など)
- 学会の参加や論文投稿を支援しています(各諸経費に対して助成)。

3 フォローアップ！ あなたの挑戦を後押しします。

- 若手職員が知事へ直接、研究成果等を発表する機会があります(他県ではあまり聞かない)。新聞やニュース番組で報道されたり特集が組まれることがあります。

その他にも……

- ・ 部内は定年までの付き合いのため、アットホームな雰囲気。
- ・ 異動があっても県内どこでも通勤ができ、引越ししなくてよい場合がほとんど。
- ・ 福岡市に近く、田舎ののんびりした日常と、都会の刺激ある非日常を堪能できる。



佐賀県が好き、動物が好き、充実した生活を送りたい、
人と話すのが好き、、、理由は何でもOK

ぜひ佐賀県庁の畜産職をご検討ください 

皆さんと一緒に仕事ができることを
楽しみにしています！